

家元・勅使河原茜をはじめ草月代表作家による
草月いけばな展 [花ときめき]

2012年11月1日(木)～6日(火) 日本橋高島屋8階

いけばな草月流(本部:東京都港区赤坂)は、2012年11月1日(木)～6日(火)の6日間、日本橋高島屋8階において「草月いけばな展」を開催します。



既定の概念にとらわれない、ダイナミック且つ繊細な草月の「いけばな」。本展では、家元・勅使河原茜をはじめ、草月を代表する作家たちによる作品約650点(合作含む)を発表します。下を通り抜けられる吊り作品や、「茜ジュニアクラス」の生徒たち(3歳～18歳)による作品群、次世代の若い世代の力を集結させたエリアなど、本展でしか見られない多彩な「いけばな」がお楽しみいただけます。

■日本橋高島屋「草月いけばな展」(主催:財団法人草月会)概要

【名称】 第94回 草月いけばな展「花ときめき」

【会期】 11月1日(木)～6日(火)

前期:11月1日(木)～3日(土・祝) 後期:11月4日(日)～6日(火)

午前10時～午後8時 ※但し3日(土・祝)・6日(火)は午後6時閉会

【会場】 日本橋高島屋8階

【入場料】 当日券1,000円(税込) 前売券800円(税込) 15歳以下は無料

【同時開催】 「勅使河原茜インスタレーション」 10月24日(水)～11月6日(火)
 日本橋高島屋1階ホール/ショーウィンドー

【問合せ】 財団法人草月会 事業部事業課 Tel:03-3408-1156

●草月流第四代家元 勅使河原茜よりメッセージ

「今私たちは、物よりも心の豊かさを大切にする時代に生きていると思います。どれほど多くのもを手にしたとしても、そこに心に響く何かがなければ、私たちは決して満たされることはないでしょう。さまざまな不安と隣り合う日々の中で、明日へ向かうために求められているものとは、何なのでしょう。」

今回の展覧会で、私たちは前に進むための力を『ときめき』の中に求めてみようと思います。ただ無心に咲き、実を結ぶ植物たち。その命の中にこそ、心にあかりを灯してくれる小さな希望があると思うのです。限りあるその命に真摯に向き合い、ときめく心の姿を作品の中に表現したいと思います。本展が皆様にとって、しばし心を解き放ち、安らぎとパワーを取り戻す機会となれば、これに勝る喜びはありません。」



2011年11月 第93回「草月いけばな展」 家元作品

●勅使河原茜(てしがはら あかね)プロフィール

1960年生まれ。「花のピカソ」とよばれた草月流の創始者・蒼風を祖父に、映画監督としても知られる第三代家元・宏を父に持ち、自由で創造的な空気を全身で感じながら育つ。幼児教育を学んだ後、4年間の幼稚園教諭の経験をへて、いけばなの道へ。2001年第四代家元を継承。

「いけばなは決して堅苦しいものではなく、現代を生きる私たちの身近な表現手段であることを多くの人たちに伝えたい」と、東京・表参道で『草月・花 Avenue』を企画・プロデュースするなど、さまざまな空間で作品を発表。新たないけばなの追究に意欲を見せている。また、いけばなを通じて子どもの感性を培う「茜ジュニアクラス」を開講し、指導に力を注ぐ。一方で、舞台美術、ジュエリーデザインをはじめさまざまな分野に活躍の場を広げ、ダンサー、ミュージシャン、書家など他分野アーティストとのコラボレーションにも積極的に取り組むなど、みずみずしい感性で敏感に時代をとらえた独自の世界を築いている。2011年には家元継承10年を記念し、東京・青山スパイラルにおいて自作花器にいける個展を開催。2012年3月には家元継承後初となる関西での大規模な展覧会を大阪高島屋で開催し、好評を博した。



<ご取材について>

会場・作品の撮影につきましては高島屋様への事前申請が必要となります。ご取材・撮影をご希望される方は、下記 広報部までご連絡ください。

Sogetsu Press Release

<取材のご依頼・本リリースに関するお問い合わせ先> 財団法人草月会 広報部 井川、ハッ橋

TEL. 03-3408-1158 FAX. 03-3405-4947 E-mail. pr@sogetsu.or.jp